

清水(吉田産業)が決勝へ

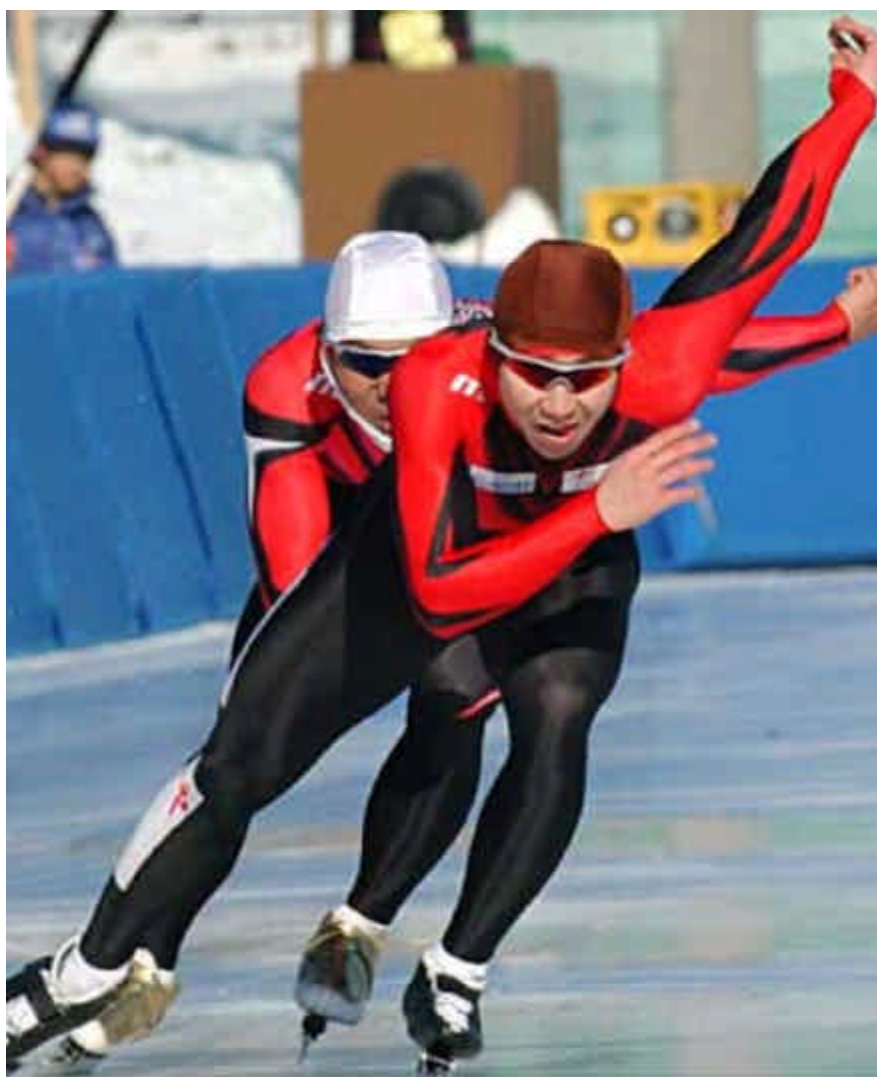
成年男子500m標準決勝

少年・松尾(八商)も

スピード

第五十九回「活彩はやて国体10th」は二日目の二十九日、八戸市、三沢市、福地村でスピード、

アイスホッケー、フィギュアの三競技に熱戦を展開。長根公園スケートリンクで行われたスピードスケー



〔成年男子500m標準決勝〕徐々に順位を上げ2位で決勝に進んだ清水亮平(吉田産業)

トでは、成年・少年五百m標準決勝で県勢短距離のアイス清水亮平(吉田産業)、松尾和明(八商)がそろって決勝進出。少年男子の松尾は、スタート良く飛び出すと二番手に付けて終始余裕のレース展開。逆に抑えめのスタートを切った成年男子・清水は、じわじわと順位を上げ、2位で通過した。期待の松橋広大(東洋大)はスタートの失敗が響き、準決勝で敗退した。千五百m標準決勝では、少年男子の下村将嘉(八商)、成年男子の高橋雄哉(日大)が決勝進出を決めた。また、三沢市の三沢アイズアリーナでは、フィギュア少年男子ショートプログラムが行われ、県勢2人がはつらつとした演技を披露。福地村のふくちアイスアリーナではアイスホッケー本県少年チームが初戦に臨んだ。

